JPhO JAPAN PHYSICS OLYMPIAD

第22回全国物理コンテスト
物理チャレンジ2026

物理チャレンジは、高校生・中学生の皆さんを主な対象として、
物理の面白さや楽しさを体験してもらうことを目的とする
全国規模のコンテストです。
翌年の物理オリンピック国際大会の日本代表選手候補者の
選考を兼ねています。

物理オリンピックで世界へ行こう！

募集要項

参加の流れ

参加申込み

参加手続きは、3月下旬からホームページで案内します。参加申込み受付期間は、以下の通りです。

学校一括　2026年4月1日(水)～5月23日(土)

個人　2026年4月1日(水)～5月30日(土)

第1チャレンジ

総合コースでは「実験課題レポート」と「理論問題コンテスト」の両方にチャレンジします。
理論コースでは、「理論問題コンテスト」のみにチャレンジします。

実験課題レポート	2026年5月31日(日)　提出締切 オンライン提出　実験課題公開中！
理論問題コンテスト	2026年7月12日(日)　10:00～ 全国一斉オンライン試験　90分間

参加費：2,000円

第2チャレンジ

第1チャレンジの総合コースおよび理論コースから選抜された合計約100名が、理論問題と実験問題にチャレンジします。

会　期：2026年8月18日(火)～21日(金)　3泊4日
会　場：SPring-8(兵庫県佐用郡)
内　容：理論問題及び実験問題コンテスト(各5時間)、交流イベント、研究所見学など
表　彰：金賞(6名)、銀賞(12名)、銅賞(12名)及び優良賞(若干名)、特別賞等。
参加費：10,000円

物理オリンピック国際大会

今年の第2チャレンジ成績優秀者の中から2027年に開催される**物理オリンピック国際大会の日本代表選手候補者を選出**します。

参加資格

「物理チャレンジ2026」に参加するには、次の条件を満たしていなければなりません。
2026年4月1日現在、満20歳未満であることおよび高等教育機関
(大学・短期大学または高等専門学校第4・5学年)に在学していないこと。
外国籍の場合は、上記条件に加え日本国内の学校に在籍していること。

特別賞 (予定)

物理チャレンジ大賞	(第2チャレンジの最優秀)
エリジオン賞	(第2チャレンジで理論最優秀)
SPring-8賞	(第2チャレンジで実験最優秀)
理研計器賞	(第2チャレンジで高2以下最優秀)
半導体エネルギー研究所賞	(第2チャレンジ初参加で最優秀)
東京エレクトロン賞	(第1チャレンジの「総合」「理論」各コースの最優秀)
東京理科大学賞	(第1チャレンジ「総合」コースの女子最優秀)

主催　公益社団法人 物理オリンピック日本委員会(JPhO)
共催　日本物理学会／応用物理学会／日本物理教育学会／日本機械学会／理化学研究所 放射光科学研究センター／東京理科大学／東京工科大学／つくば科学万博記念財団／加藤山崎教育基金
協賛　電気学会／エリジオン／東京エレクトロン／理研計器／半導体エネルギー研究所／豊田理化学研究所／フジプレアム／島津製作所／エムケー精工／Z会／IMRA AMERICA
協力　シュプリンガー・ジャパン／丸善出版／岩波書店／講談社／ミツトヨ／日本発明振興協会
後援　文部科学省／日本生物物理学会／日本理化学協会

物理チャレンジは、応用物理学会(応用物理学学術・教育奨励基金)、日本物理学会、日本物理教育学会のほか、多くの団体や企業からの協力を得て運営されています。

公益社団法人 物理オリンピック日本委員会　東京都新宿区神楽坂1-3　東京理科大学内
The Committee of Japan Physics Olympiad　E-mail ▸ info@jpho.jp　ホームページ URL ▸ https://www.jpho.jp

JPhO チャンネル

東京理科大学 TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE　ELYSIUM　TEL TOKYO ELECTRON　RIKEN KEIKI　SEL 半導体エネルギー研究所　公益財団法人 豊田理化学研究所
FUJIPREAM　公益財団法人 つくば科学万博記念財団　SHIMADZU　エムケー精工　Z-KAI　IMRA

募　集　要　項

1 物理チャレンジとは

物理チャレンジは、公益社団法人　物理オリンピック日本員会（JPhO）が主催する、高校生・中学生を中心に20歳未満で大学などの高等教育機関に入学する前の皆さんを対象とした全国規模の物理コンテストです。物理チャレンジの魅力は物理の楽しさと面白さに触れられることです。高等学校で物理を履修していなくても挑戦することができます。物理に関心がある人は、奮ってチャレンジしてみてください。

物理チャレンジには、いくつかのステップがあります。はじめの第1チャレンジは、「理論問題コンテスト」と「実験課題レポート」です。

「理論問題コンテスト」は、自宅で参加できるインターネットを使ったオンライン形式の多肢選択試験です。

「実験課題レポート」は、実験課題に、自宅や学校で取り組み、その結果をまとめてレポートとして提出します。今年の実験課題は、⑨を参照してください。（JPhO Webサイトにも掲載されています。）

昨年度から「総合コース」（実験課題レポートと理論問題コンテストの両方に参加）と「理論コース」（理論問題コンテストのみ参加）の2つの参加形式を設けました。どちらのコースで参加いただいても第2チャレンジへの選抜対象となります。どちらのコースで参加するかは参加申し込み時に選択していただきます。コースの変更は受付期限の5/30まで可能です。

「総合コース」では実験課題レポートと理論問題コンテストの結果を総合して、「理論コース」では理論問題コンテストの結果をもとに、各コースの参加人数に比例して第2チャレンジへ進出する100名を選抜します。なお、「総合コース」と「理論コース」では受けていただく理論問題コンテストの問題が異なります。

第2チャレンジ（全国大会）は、第1チャレンジによって選抜された100名が夏休みに一堂に集まる3泊4日の合宿です。ここでは「理論問題」と「実験問題」それぞれ5時間で行なわれるコンテストにチャレンジします。

そのほか、第2チャレンジの期間中には、第一線の科学者との対話、先端研究施設の見学、そして参加者同士の交流する機会など、コンテスト以外の多彩なプログラムも織り込まれています。物理好き、探究好きの皆さんには充実した4日間になること間違いなしです。

物理チャレンジは、物理オリンピック国際大会（国際物理オリンピック、アジア物理オリンピック、ヨーロッパ物理オリンピック（※1）のうち国際情勢などの状況によりいずれかの大会）に派遣する日本代表選手選考を兼ねています。第2チャレンジで特に優秀な実力を示し、かつ高校2年生以下およびそれと同等学年以下の上位12位までを日本代表選手候補者として選出する予定です。

通信や合宿などの教育研修によって日本代表選手候補者のスキルアップを図り、最終選考によって日本代表選手を選出し、翌年開催される物理オリンピック国際大会に派遣する予定です。第2チャレンジの合宿形式のプログラムは、国際物理オリンピックのスタイルをヒントにしています。

※1）国際物理オリンピックの詳細は https://www.ipho-new.org/（英文）参照。
アジア物理オリンピックの詳細は https://asianphysicsolympiad.org/（英文）参照。ヨーロッパ物理オリンピックの詳細は https://eupho.ee/（英文）参照。

2 物理チャレンジではどんな問題がでるのか

第1チャレンジの理論問題は、高等学校の物理で扱う基本的な事項の理解を前提に出題されます。解答はIBT（Internet Based Testing）による多肢選択式です。物理を学び始めたばかりの人にも配慮した問題にしています。少し難しい問題があるかもしれませんが、問題文をよく読んで、よく考えて解答してください。第1チャレンジ理論問題コンテストでは、教科書、参考書、ノートなどを参考にすることができます。自分の電卓も使用可能です。

第2チャレンジの出題の範囲は、高等学校の物理を基本としますが、その範囲を超える問題には解説やヒントをつけます。なお、第2チャレンジのコンテストでは参考となる資料を持ち込むことはできません。電卓は与えられたものを使用します。

物理チャレンジの過去問題および参考となる図書については、JPhO Webサイト（https://www.jpho.jp/）を参照してください。

3 物理チャレンジに参加するには

●参加資格

今年の物理チャレンジに参加するには、次の条件を満たしていなければなりません。

2026年4月1日現在、満20歳未満であること、および高等教育機関（大学・短期大学または高等専門学校第4・5学年）に在学していないこと。

外国籍の場合は、上記条件に加え日本国内の学校に在籍していること。

※年齢の下限は設けていません。中学生以下の参加も大歓迎です。ただし、第2チャレンジは、ややハードなスケジュールのため、小学生以下の方はあらかじめご相談ください。
※国籍は問いません。ただし、物理チャレンジの出題及び解答は日本語に限定します。
※第2チャレンジは3泊4日の全日程参加が原則です。また、保護者、学校の先生などの付き添いは認められません。
※障がい者への合理的配慮の観点から、特別な介助や配慮が必要な参加希望者は、事前にJPhO事務局（info@jpho.jp）までご相談ください。

重要 不正行為が発覚した時点で、物理チャレンジ参加の資格を失います。また、業務妨害として通報します。

●参加費

参加費は、第1チャレンジが2,000円（「総合コース」か「理論コース」かにかかわらず）、第2チャレンジが10,000円です。

その他、第2チャレンジでは、自宅から集合場所までと解散場所から自宅までの交通費は自己負担です。

●参加申込方法

申込専用のWebサイトから申し込んでください。申し込みにはメールアドレスが必要です。指示にしたがって必要事項を直接入力してください。参加申込をされた方には、すぐに登録したメールアドレス宛に第1チャレンジ番号が送られます。個人申込を推奨しますが学校単位での一括申込も可能です。

学校単位の一括申込の場合、学校からの要望があれば参加者の成績一覧を提供します。学校への結果通知を希望しない人は個人申込をしてください。

また、6月上旬に自宅宛てに参加費の払込取扱票を送ります。6月15日までに届かない場合は、科学オリンピック共通事務局（⑧に記載の問い合わせ先）まで問い合わせてください。

なお参加申込の詳細は、④および⑧をご覧ください。

物理チャレンジは、日本数学オリンピック、化学グランプリ、日本生物学オリンピック、日本情報オリンピック、日本地学オリンピック、科学地理オリンピック日本選手権と共に、日本における「国際科学オリンピック」の一環として開催されています。
国際科学オリンピック全体の普及を目的として、各オリンピックの主催機関において本大会への学校別参加状況等（参加者個人を特定する情報を除く）を活用する場合がありますので、予めご承知おきください。

4 第1チャレンジについて

「総合コース」と「理論コース」ともに下記の通りです。

参加費	2,000円（振込手数料は参加者負担）
参加申込み受付期間	学校一括：4月1日（水）～5月23日（土）13:00 個　　人：4月1日（水）～5月30日（土）13:00
払込取扱票の送付	6月上旬（本人自宅宛に送付します）
参加費払込期間	6月9日（火）～7月11日（土）
実験課題レポート提出締切り	Web:5月31日（日）24時（「総合コース」のみ）
理論問題コンテスト・全国一斉	7月12日（日）10時00分～（90分間）
第2チャレンジへの選抜結果通知	7月下旬
第1チャレンジ成績結果通知	8月上旬

●第1チャレンジ実験課題レポート

実験を行い、レポートにまとめて提出します。詳しくは⑨をご覧ください。

●第1チャレンジ理論問題コンテスト

第1チャレンジ理論問題コンテストは、オンラインで実施します。インターネット環境とPC（タブレットも可）と、静止画による試験監督を行うため、Webカメラが必要です。スマートフォンで参加することもできますが、問題文が見辛い、解答し辛い等がありますので、PCあるいはタブレットをお勧めします。また、「総合コース」と「理論コース」の理論問題の内容は一部異なります。

●受験上の注意

第1チャレンジ理論問題コンテストでは、受験用通信機器でIBT以外の機能を使う行為（たとえば検索など）を使う行為や第三者との通信、身代わり受験などの不正行為を一切禁止します。試験中、画像によるモニタリングを行います。不正行為が発覚した時点で、物理チャレンジ参加の資格を失います。第1チャレンジ理論問題コンテストでは、教科書、参考書、ノートなどを参考にすることができます。電卓も使用可能です。なお、第2チャレンジのコンテストでは参考となる資料を持ち込むことはできません。

5 第2チャレンジ（全国大会）について

参加費	10,000円（振込手数料は参加者負担）

会　期	2025年8月18日（火）～21日（金） 3泊4日
会　場	SPring-8（兵庫県佐用郡佐用町光都）
宿　泊	SPring-8宿舎
集合日時場所	8月18日（火）12時、JR相生駅前（予定）
解散日時場所	8月21日（金）13時、JR姫路駅前（予定）

感染症対策の観点から、第2チャレンジではJPhO独自のルールを設ける可能性があります。そのような場合、参加者にはルールの順守を求めます。

●プログラム

第1日　8月18日（火）　オリエンテーション
　　実験問題コンテスト（5時間）
第2日　8月19日（水）　理論問題コンテスト（5時間）
　　理論問題解説会・実験問題解説会
第3日　8月20日（木）　サイエンス・ツアー、フィジックス・ライブ（フィジックス・ライブは、物理研究者等によるデモ実験や講話など物理を通じた交流イベントです）
第4日　8月21日（金）　表彰式　講評　閉会式

6 選抜と表彰

第1チャレンジの総合成績により選抜された約100名が、第2チャレンジの参加対象者となります。

第1チャレンジで優秀な成績をおさめた人には、特別賞として協賛団体の名前を冠した冠賞を授与します。また、「総合コース」に参加し、実験課題で特に優れたレポートを提出した人には第1チャレンジ実験最優秀賞・優秀賞・優良賞・奨励賞を授与します。

第2チャレンジで優秀な成績をおさめた人には、金賞（最上位から6名）、銀賞（金賞に続く12名）、銅賞（銀賞に続く12名）のほか、優良賞（約20名）、奨励賞、さらに特別賞として協賛団体の名前を冠した冠賞などを授与します。

受賞者名はJPhO Webサイトなどで公開します。

7 物理オリンピック国際大会日本代表選手候補者の選考

今年の第2チャレンジ成績優秀者の中から、高校2年生以下の上位12位までを2027年に開催される物理オリンピック国際大会日本代表選手の候補者として選出する予定です。

ただし、候補者となるには国際物理オリンピックの規定により、2027年6月30日現在、満20歳未満、かつ、大学等の高等教育機関に在学していないことが条件です。

外国籍の方の場合、上記の条件に加え、少なくとも2026年4月から2027年8月まで継続して日本国内の学校に在籍することが条件です。

日本代表選手候補者として選抜された者は、秋・冬・春の3回の合宿と通信添削による研修に参加し、2027年3月の春合宿で最終選抜に臨みます。最終選抜で日本代表選手を決定します。最終選抜の対象となるには、3回の合宿（秋・冬・春）への全日程参加が必須条件となります。

秋合宿の日程は以下の通りです。冬（12月下旬）・春（3月下旬）の合宿については9月以降に通知します。

秋合宿 会期：2026年9月19日（土）～21日（月・祝） 2泊3日
　　会場：軽井沢研修所（長野県北佐久郡軽井沢町）

代表選手選抜規程 ▶

8 参加申込および実験課題レポート提出

●参加申込先

https://contest-kyotsu.com

学校一括申込：5月23日（土） 13:00締切
個人申込　　：5月30日（土） 13:00締切

上記Webサイトから必要事項を入力して申し込んでください。申し込みが完了すると、すぐに登録したメールアドレス宛に第1チャレンジ番号が送られます。郵送による申し込みは受け付けていません。

◆学校一括申込みについて

先生（団体申込責任者）が複数の参加者を一括して申込む方法があります。申込み画面の「学校申込み」から手続きをしてください。2026年度より学校申込みに対して、要望があれば第1チャレンジの結果一覧を団体申込責任者に提供いたします。詳細はJPhO Webサイトもしくは申込専用のWebサイトでご確認ください。なお、個人で申し込んだ場合には成績は参加者本人にしか提供されません。

●実験課題レポート提出先

オンライン提出。提出先URLは参加申し込み者へ電子メールで通知します。
提出期限：2026年5月31日（日） 24:00
注意事項
（1）実験レポートの提出にはチャレンジ番号が必要です。
（2）実験レポートの提出時に、学校名、氏名などの事項の入力が必要です。
（3）優秀な実験レポートは、全部もしくは一部を、JPhO News LetterやJPhO Webサイトなどで公開することがあります。
※オンライン提出が出来ず、やむを得ず郵送提出する場合は5月22日（金）13時までに共通事務局へ事前に連絡してください。

●参加申込についてのお問合せ

下記のメールまたは電話にて、お問合せを受け付けています。
科学オリンピック共通事務局　E-mail: info@contest-kyotsu.com
　　TEL 042-646-6220
受付時間　平日（月曜日～金曜日）12:00～13:00　17:00～19:00

●第1チャレンジ参加費の支払について

参加費は6月上旬に郵送する郵便局の青色の郵便振替「払込取扱票」で払い込んでください。

払込期間は、2026年6月9日（火）～7月11日（土）の間です。納付された参加費は、返還いたしません。請求書が必要な場合は下記へ5月29日までにご相談ください。

参加費規程 ▶

科学オリンピック共通事務局

e-mail: info@contest-kyotsu.com

9 第1チャレンジ実験課題レポート（「総合コース」のみ）

第1チャレンジ実験課題（総合コース）

「紙ばね」の「ばね定数」を求めよう

1cm幅に切ったコピー用紙などの紙2枚を交互に折って紙ばね（右図参照）を作ってください。この紙ばねにはたらく力と紙ばねの伸縮を調べてばね定数を求めましょう。ばね定数の決定には力を変えて5点程度は測ってください。

また、この紙ばねを複数組み合わせた場合のばね定数と上記で求めた値を比較してください。さらに、紙の幅、重ねる枚数、折る回数、折り方のうち少なくとも1つを変えてばね定数がどのように変化したのか、実験して考察してください。

以下の各注意をよく読んで実験レポートを作成し提出してください。

実験を始める前に

- **実験は安全面に十分に注意し事故のないように行ってください。**
- **研究を行うにあたって守らないといけないルールがあります。**
  データの盗用・捏造の禁止はもちろんのこと、他にもプライバシーの保護や生命倫理の尊重など守らなくてはならないことがあるので気をつけましょう。また、**生成AI（人工知能）などを用いた場合については、使用した箇所と方法を必ず明記してください。**
- **実験は、1人で行ってください。**
  ただし、実験に対して他の人（学校の先生など）に助言を求めたり、実験を手伝ってもらったりすることはかまいません。
- **実験はどこで行ってもかまいませんが、学校など公共の場所で行う場合は、必ず先生など管理する人の許可を得てから行ってください。**

実験レポートの書き方

- **応募者1人について実験レポート1通を作成してください。**
- **実験レポートはA4版・縦向き、横書きで作成してください。10ページ以内に収まるように簡潔にまとめましょう。**
  本文、表、図、グラフなどはパソコンで作成してもかまいません。
- **実験レポートをPDFに変換して，指定のURLからアップロード提出してください。**
  ファイルサイズの上限は10Mbyteで、これを超えるサイズのファイルは受け付けることはできません。

実験レポートの項目とその内容

実験レポートは、以下(1)～(8)の項目に分けて、その順に記述してください。

(1) レポート題目、所属、氏名、要約
1ページ目に、レポートの題目、所属（学校名、学年）、氏名を書いた後、レポート全体の要約（要旨）を400字程度の1段落で書いてください。感想ではありませんので注意してください。
※2ページ目以降から以下の項目を書いてください.

(2) 実験の目的
はじめに何を目的とした実験なのかを書きます。自分なりの視点や独創性がどこにあるのかを明確に書きましょう。

(3) 実験手法
実験の原理、装置や計測機器の説明、測定方法や実験条件などを、実験装置の模式図や写真などを活用して詳しく書きます。他の人がこれを読んで、実験を再現するために必要な情報をすべて含めましょう。

(4) 実験結果
実験結果を導くのに必要な測定データなどを表やグラフを使って分かりやすく示します。表やグラフを示すだけでなく、それらから分かることを文章として書きましょう。実験値を求める際は、計算の過程が分かるように説明しましょう。実験データの不確かさ（精度、有効数字）についても考えましょう。

(5) 考　察
実験結果を基にして自分の解釈を書きます。実験結果が『理科年表』などに掲載してある値と異なっていても、何が原因で異なった値になったのかを考えましょう。

(6) 結　論
実験の目的に照らし合わせ、実験結果と考察から何が分かったかを簡潔に書きます。

(7) 参考資料
実験の立案・実施から実験レポート作成にあたり、参考にした書籍や論文、Webページなどを、番号を付けてすべて記載します。実験レポートの中で引用するときは、その部分に番号を付けます。
※参考資料から引用したものを、自分の考えたことのように書いてはいけません。
※生成AI（人工知能）などを用いた場合については、使用した箇所と方法を必ず明記してください。

(8) 謝　辞
実験に協力してくれた人がいる場合は、その人の氏名と協力してくれた内容とともに感謝の言葉を書きます。

実験レポートを評価するときの主な観点

- **実験レポート課題、実験の目的に則して研究が行われているか。**
- **研究の内容が正しく記載されているか。**
- **実験装置，測定方法やデータ解析などで工夫や独自性がみられるか。**
  高価な装置や材料を使ったものが高い評価になるとは限りません。

実験レポートの提出方法

提出期限　2026年5月31日(日) 24:00　オンライン提出
提出先URL　参加申し込み者へ電子メールで通知します

提出前に、以下の(1)～(3)を確認してください。特に(1)、(2)が守られていないと、実験レポートの受付が出来なくなります

(1) 実験レポートの提出には**チャレンジ番号**が必要です。事前に、参加申し込みをしてチャレンジ番号を取得してください。
【参加申込期限】Web：**2026年5月30日（土） 13:00** まで
※第1チャレンジの参加費は2,000円です。

(2) 実験レポートの提出時に、学校名、氏名など必要事項を入力いただきます。アンケート入力にもご協力ください。

(3) 優秀な実験レポートは、全部もしくは一部を、JPhO News Letterやホームページなどで公開することがあります。

※オンライン提出ができずやむを得ず郵送提出する場合は事務局へ事前に連絡ください。

第1チャレンジ理論問題コンテスト（総合コース，理論コース）について

理論問題コンテスト（2025年7月12日（日））は、オンラインで行います。出題される内容は高等学校の物理程度です。
理論問題コンテストは、参考図書（教科書、参考書、問題集、ノート、専門書）および電卓を使用することができます。詳細は、参加者へ郵送と電子メールでお知らせします。
なお，総合コースと理論コースでは出題される問題が異なります。

第2チャレンジ（全国大会）への参加

第1チャレンジ実験課題のレポートの評価と理論問題コンテストの結果を総合し、優秀者約100名に、2026年夏に開催される第2チャレンジの参加資格が与えられます。なお、第2チャレンジ参加は有料（10,000円）です。

個人情報保護の取り扱いについて

公益社団法人物理オリンピック日本委員会（以下、当法人という）は、個人情報保護法を遵守し、当法人が実施する事業等へ提供された個人情報を適切に管理します。
提供された個人情報は、次のように取り扱います。参加申込される方およびその保護者は、以下の内容について同意したとみなしますので、ご了承ください。

1. **個人情報の収集・使用について**
   当法人は事業を実施するために必要な個人情報を収集します。個人情報の提供は任意ではありますが、必要な情報が提供されない場合は、事業実施・参加に支障が生じる可能性がありますので、ご了承ください。また、事業において記録・撮影された写真等は、当法人に登録され、当法人事業の円滑な運営を遂行するために使用するとともに、この事業に関連する各種案内や当法人が実施する科学技術・理解増進活動及び科学技術の普及・啓発活動や事業推進のための調査・研究に利用させていただきます。
2. **個人情報の第三者への提供・預託について**
   個人情報は、法令等により開示を求められた場合、当法人事業を実施するために協力団体や業務委託先に提供する場合等を除き、本人の同意なく第三者へ提供することはありません。
   当法人は、事業の目的の達成に必要な範囲内で業務委託を行います。この場合の委託先は、個人情報に関し十分な保護水準を満たしている者を選定し、当法人が適切な監督の下、厳重な管理を実施し、他への再委託は禁止します。
   当法人では「物理チャレンジ」の参加申込受付から結果通知までの業務の一部を科学オリンピック共通事務局に業務委託しております。
   また、提供された個人情報は、事業実施会場や業務遂行上必要な関係先に対して、運営に必要な情報として提供しております。
3. **個人情報の開示について**
   個人情報提供者本人（本人が未成年の場合は保護者を含む）から開示請求があった場合、本人確認（本人が未成年の場合は保護者を含む）を行ったうえで速やかに開示します。
   また、訂正、削除等の請求があった場合も速やかに対応します。
4. **個人情報の管理について**
   個人情報は、漏洩、紛失等がおこらないよう、個人情報保護統括管理責任者（理事長）の統括の下、細心の注意を払い取り扱います。
5. **問い合せ先**
   公益社団法人物理オリンピック日本委員会 事務局
   〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 東京理科大学内　　e-mai: linfo@jpho.jp
   科学オリンピック共通事務局　　e-mail: info@contest-kyotsu.com